



元気いっぱい月輪っ子



もったいない

～環境にやさしい水の使い方～



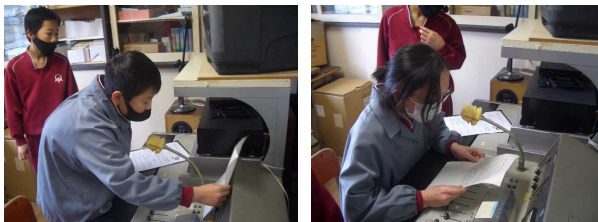
ワンガリ・マータイさん（ノーベル平和賞受賞者 ケニア）が2006年2月14日に来福し、日本の「もったいない」という言葉に感銘を受け、実践の大切さを呼び掛けた日から、15年が経過しました。これを記念して、今年度は、じょもびあ宮畑に植樹してあるマータイさんゆかりのドンダリの木から、種子を拾って、宇宙ステーションに運ぶミッションを実施したり、2月14日を「もったいないの日」とし、環境保全を考える機会にしたりしています。本校では、環境委員会の子どもたちが中心となり、冬休み明けの水道管凍結による水が使えないことによる不便さを実感したこと、改めて水の大切さを実感したことをもとに、2月1日を「環境にやさしい水の使い方」月間としました。2月1日に環境委員長による全校放送での呼びかけを行うとともに、各水道場にポスターを掲示しました。これをきっかけに、「環境を守ることの大切さや自分のできることから始めよう」という気持ちを育つことを願っています。ご家庭での取り組み（水の節約）もよろしく願いいたします。

東京オリパラ特別献立

2月中に福島市内の小中学校では、「東京オリパラ特別献立」を提供することになっています。本校は、2月2日（火）に市内で一番早い実施ということで、教育委員会の給食担当者が来校し、給食を食べていただきました。見た目、味ともにお褒めの言葉をいただきました。また、地方紙の記者も来校し、5年生の給食の様子を取材していきました。3日（水）福島民友紙、4日（木）福島民報紙に掲載されました。



豆まき会



2月2日（火）は節分でした。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため集会には行わず、運営委員会の子どもたちが、全校放送で、豆まきの由来について大変わかりやすく説明しました。この後、学級ごとに、創意工夫した豆まき会を実施しました。落花生はまかずに、一人一人に配りました。今年、何とでも「新型コロナウイルス」を追い払いたいですね。

おいしい給食に感謝



1月の最終週は「全国学校給食週間」でした。それにちなみ、毎日おいしく栄養たっぷりの給食を作ってください調理員の方と、食事の大切さについて教えてください栄養教諭の方に、全校生から感謝のお手紙を送りました。西階段の踊り場にお手紙の拡大版が掲示されました。「毎日おいしい給食をありがとう」「給食が楽しみです」等の温かい感謝の言葉がいっぱいでした。

※ 月輪小 HP のブログでは、カラー版の学校だよりをご覧いただけます。子どもたちの様子も毎日更新してアップしておりますので、ぜひご覧ください。

※ 月輪小 HP のブログでは、カラー版の学校だよりをご覧ください。子どもたちの様子も毎日更新してアップしておりますので、ぜひご覧ください。